

稲門会

よこすかみうら

発行 早稲田大学横須賀三浦稲門会
 横須賀市佐野町6-22
 松本将平方
 Tel 046(853)0324
 発行人 諏訪英治
 編集人 前原博幸
 印刷 文明堂印刷株式会社

令和5年
**横須賀三浦稲門会
 新年会開催**



諏訪会長

2月4日土曜日横須賀さ
 か屋南館の煌蘭を会場にし
 て、新型コロナウイルス対策上
 マスク着用にて新年会が開催
 されました。

出席者は44名で17時より濱
 田恵里副会長の司会で始めら
 れました。諏訪英治会長の挨拶
 のあと昨年10月にご逝去さ
 れました早稲田バカを自認し
 横須賀三浦稲門会の顔ともい
 える島田一志元会長を偲び黙
 祷を捧げました。

その後、小林章一顧問によ
 る乾杯がおこなわれ懇親会が
 始まりました。出席議員に挨拶
 をいただいた後、初参加の
 会員そして久々にご参加をさ
 れた会員にもご挨拶をいた
 だきました。

又、今まで中止をしており
 ました各種イベントにつきま
 しては今後の方針のご案内を

させていただきます。懇親
 会も佳境に入り皆様お待ちか
 ねの景品抽選会が行われまし
 た。久しぶりの楽しいひと時
 もあつという間に過ぎお開き
 の時間となりました。
 出席いただきました方は次
 の通りです。

(田邊 一三 昭和50商学)

新年会出席者(敬称略)

- 荒木裕・池野龍暢・石川巧・
- 稲葉英雄・稲葉優佳・今井
- 俊行・内田千代子・大場怜
- 大場規子・大場柚惟子ちや
- ん・緒方寛樹・奥津良博・
- 上地克明・木下眞生・木村
- 志義・桑田廣隆・小泉孝一・
- 鴻谷創・小林章一・小林秀
- 俊・雑賀邦行・鈴木祐之・
- 諏訪英治・高橋和代・田口
- 穰一郎・竹内英明・多治見
- 尚海・多田輝典・田邊
- 一三・谷合明・徳原光洋・
- 永井聡・西村茂・濱田恵里・
- 平岩伸康・福井陽一・福田
- 知弘・古屋範子・堀遼一・
- 松本将平・室井二三夫・茂
- 木誉子・安川有里・渡辺重
- 博

総会・講演会・懇親会・新入生歓迎会のお知らせ

日時：令和5年6月17日(土)
 総会 午後4時～午後4時30分
 講演会 午後4時30分～午後5時15分
 講演会講師：森 敏晴氏 演題：鎌倉殿と13人に見る三浦一族
 懇親会 午後5時30分～午後7時30分
 会場：セントラルホテル ☎046-827-1111
 会費：会 員 10,000円 ご同伴者 8,000円
 学 生 3,000円 新入生 無 料
 (ご家族同伴大歓迎)

2023年 神奈川県支部大会

本年は、秦野、伊勢原稲門会主管で
 11月4日(土)開催されます。
 奮ってご参加下さい。

横須賀三浦稲門会 年会費振込みのお願い 令和5年度年会費の振り込みをお願いします。 年会費 3,000円

同封の払込取扱票をご利用いただき、ゆうちょ銀行のATMでカードまたは通帳
 でお振り込みいただくと振込手数料は無料です。会が負担する手数料が、窓口扱
 い203円、ATM扱い152円です。振込手数料節約のため、なるべくATMをご利用
 下さい。

振込機関 ゆうちょ銀行 口座番号 00210-1-9927
 口座名 横須賀三浦稲門会 会計幹事：奥津良博 TEL&FAX. 046-841-9596

池野龍暢・小嶋辰徳・小林章一・
 斉藤光世・斉藤好弘・鈴木巧一・
 鈴木常弘・新倉成是

年会費(令和4年度)納入者
 (R4年12月1日以降)

横須賀三浦稲門会元会長

島田一志(かつゆき)氏を偲んで



昨年九月二十六日に島田元会長の訃報を知り、私は、

頭の中が真白になり、驚きと共に目頭が熱くなりました。私と島田元会長との出会いは、昭和三十八年の春、当地の早稲田卒の知人から横須賀稲門会の総会へのお誘いで始まりました。そこには、和氣藹々の心温かいOB諸先輩と学生の交流の場がありました。当時の学生の集まりは、若松町の喫茶店「ササヤ」で毎週、夕方から十五〜二十人位で開催され、若さ溢れる賑わいのある活気に満ちたもので、通称、「ヤング稲門会」と言われていました。会の活動は、諸々ありましたが、中心は毎年一回企



画開催されていきました音楽コンサートであり、これが稲門会学生会の活動の収入源でもありました。特に思い出になっておりますのは、ワセダの誇るハイソサイア

ティオーケストラと慶応の誇るライトミュージックオーケストラの共演で、横須賀市の文化会館大ホールを満席にする程でした。この音楽事業には、島田さんの強い思い入れがありました。また、神宮球場での早慶戦の応援も強心に残っています。それは、球場の外野のスコアボードの脇に横須賀稲門会の大きなのぼり旗を立てる事でした。京急線の朝一番の電車で旗を運ぶ事が、新入学生の任務になっており、これも当時幹事長であった島田さんの発案であったそうです。そして試合後は、横須



賀に戻り、中央駅前で円陣を組んで校歌を合唱し、最後は、近くの島田さん宅の前で高らかに歌ったものでした。

さて、島田さんが中心になって実施してこられた稲門会の改革についても記したいと思います。まず、会則の見直し、会報創刊号の発行、年会費の徴収開始、市政懇談会の開催そして、サークル面では、写友会、旅の会やワセダナイト等々、様々な活動にご尽力されました。また、大学の校友会では、幹事、代議員を四十余年歴任され、自称、早大稲門会学科卒と言われ、熱血漢のある方でもありました。

プライベートでは、ご兄弟六人中四人がワセダ卒であり、ご長女も同様であります。亡くなられる半年前には、奥様を亡くされ、一人祭壇の前で生前の夫婦愛を確認されているような優しいお姿が目



(渡辺 重博 昭和42商)

島田さんを偲んで(旅の会発足からの思い出)

今から二十一年前の平成十四年のある日、島田さんから相談があると言われた。それは、横須賀三浦稲門会に旅行会を作りたいと言

う事と、その幹事になって欲しいとの事だった。生来、旅好きだったので、多田先輩(昭和42商)と共に引き受ける事にした。この時は、まさか今日まで20年以上も幹事をするなんて思いもしなかった。会の名称を「旅の会」と決め、記念すべき第一回を、平成十五年二月に一泊二日で、博多でフグを食べる会」として実施。島田さんから、横浜稲門会でANAにお勤めの久保田さん(46年卒で私と同期)を紹介され、種々、お世話いただいた。宿泊・航空機・フグ尽くし料理代全て込みで何と23,600円と言う超お得なプランだった。参加者は、島田さんと奥様(共に故人)、木村克己先輩(故



人)と奥様、渡辺重博先輩と奥様、雑賀邦行さんと奥様、幹事役の多田さんと私の十名でした。初日は、羽田から福岡に飛び、博多駅で観光バスに乗り、大宰府天満宮や博

多織物工場を見学後、ホテルにチェックイン。夕食は、ホテル内で、フグ尽くし料理を満喫した。その後、博多天神に繰り出し、屋台料理を楽しんだ。二日目は、ジャンボタクシーを手配し、博多の街めぐり。櫛田神社、宮崎宮、福岡タワーなどを巡り、昼食会場に。博多中州にある日本料理店の「大阪屋」さん。ここは、たまたま早稲田学報で紹介されていたお店で、店主が、昭和44年文学部卒の方だったこともあり、旅行前にコソタクトしたところ快く出迎えて頂いた。丁度、この時期は、博多祇園山笠の準備で、ご亭主は忙しくお会い出来なかったが、奥様がずつと付き添って下さり、地元の話や、お祭りの話で盛り上がった。





その後、夕刻に福岡を出発し羽田へ。無事、第一回目の旅の会は終了となった。以降、令和元年十月に実施した日帰りバス旅行（大隈重信侯と福沢諭吉翁の菩提寺参拝）まで二十一回の旅を実施してきましたが、故島田先輩には全ての回に参加していただき、多田先輩共々、幹事として、旅の企画打合せは、島田さんの内藤洋服店内の事務所で、また、ある時は中央の居酒屋で行いました。今、それぞれの旅の思い出が蘇ってきます。

島田さん、長い間、旅の会の立ち上げから実施まで本当にお世話になりました。

ここに衷心からご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

(前原 博幸 昭和46法)

令和五年 稲門研修会開催

三月八日(水)午後七時から、ヴェルク横須賀にて、稲門研修会が開催されました。

講師は福井陽一氏(昭和49年教育卒)、演題は「幕末と神奈川」。来場は12名でした。

黒船来航で歴史の最前線に立たされた浦賀奉行所、国書の受け取りのために急造された久里浜接見所、咸臨丸出航の碑が設置されている愛宕山公園、公園の名前にその名を残すフランス人技術者ヴェルニーを招いて建造された横須賀製鉄所(造船所)：この地が幕末の歴史に深く関わってきたエピソードを中心にお話いただき、質疑応答に。ここで話題になったのは：「日本は何故鎖国政策をとったのか」。神奈川の関わりからは離れてしまいましたが、やはり国のあり方の話に。この場の結論としては、その始まりは反キリスト教。当時の欧米列強は、まずキリスト教の布教を足がかりにして植民地化を進める。そんな手法をアジア・アフリカで展開しており、日本の植民地化を避けるために鎖国政策をとった。また、土農工商の身分制度はキリスト教の教義には相反するので、制度維持のための側面もあった。そして、鎖国下の日本は260年の平和を維持したので、一定の成功を収めた。し

かし、欧米列強の圧力で鎖国を維持することができなくなった。

この国難に直面して、様々な考え方の元で様々なテロ事件も起きた。攘夷派が外国人を攻撃するのは悲しいこと。イデオロギー対立で日本人同士が闘うのはもつと悲しいこと。でも、とにかく、この時代の人々は、国難に対して国を守るために闘った。その歴史の上に今のこの国がある：改めてそう思いました。

当日は福井氏のご令嬢も来場されており、当日のテーマに合った著書「慶喜と隆盛・美しい国の革命」および「ドリームキャッチャー」の販売をされていました。「慶喜と隆盛」大変面白かったです。皆様も是非！

(永井 聡 昭和63理工)

早稲田 青春の会

去る2月25日土曜日、横須賀中央の酒蔵お太幸にて横須賀三浦稲門会 青春の会 会員による飲み会を開催しました。新型コロナウイルスの影響もあり久方ぶりの開催となりましたが、コロナ禍以前と変わらず和気あいあいとした雰囲気となりました。次回の開催ではさらに賑やかな会になりますよう、会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(H30教育学部卒 久水陽平)

2023年 稲門祭&ホームカミングデー

今年の稲門祭のテーマは、「心のふるさと早稲田」で、次の通り開催されます。

2023年10月22日(日)

ホームカミング該当者の皆様はもとより、校友の皆様、「心のふるさと早稲田」に集まろう!!



**大学受験のプロによる
完全1対1指導**

早慶・難関国公立・医学部受験対策

046-827-8855

**アダス
ADAS 大学進学会**

〒238-0008 横須賀市大浦町2-15-1 横須賀東相ビル8F

株式会社創育社 代表取締役 松永 孝之(校友)

学習塾 アダス進学会
・月尾ヶ浜・坂本・溝賀

英語指導院イサービズ プレップサポートセンター
・横浜・保土ヶ谷・和田町・下永谷・月尾ヶ浜・金沢文庫
・栗田・鶴沢・溝賀
・薬利谷東・平塚町・県立大学・浦賀・久里浜・鶴ノ内(旧市立東)

米・酒・燃料・たばこ・食品小売り

株式会社 **サンハーフ**

住所 横須賀市大矢部2-1-3

TEL 046-836-1509
FAX 046-836-1509

校友 雑賀 邦行(昭47政経卒)
雑賀みどり(昭47教育卒)
雑賀 邦彦(平12法卒)

創業96年

文明堂印刷株式会社

校友 渡辺 重博(昭42-商卒)

(本社)
横須賀市東浦賀 1-3-12

☎ 046-841-0074

http://www.bunmeidou.co.jp

私と早稲田

濱田 恵里
(昭和五十七社会卒)



物心ついた頃から漠然と大学に行くなら「早稲田」と思っていました。母が戦後自分が通っていた時の事をよく話していたからだと思います。ゲートルを履いた軍服姿の学生もいて、正門近くには屋台が並びそこで議論しながらお酒を飲んだと聞いていました。

今思うとその☆屋台でお酒☆に魅力を感じていたのかもしれない。私もよく飲みました。議論をした時もあったけれど、ほとんどは他愛の無い会話で何があればほど楽しかったのか笑い転げていた記憶しかありません。

私の高校は最初女子校だった事もあり圧倒的に女子が多かったのですが、大学に入って男子学生の多さに驚くと共にワクワクドキドキが止まりませんでした。振り返ってあの4年間ほどモテた時期はあ

りません。楽しかった！楽しすぎて勉強を忘れ単位ギリギリで卒業できるかどうかという時には円形脱毛症になってしまいました。

授業の内容は数える程しか覚えていないけれど、卒業後も付き合えている貴重な恩師と友人を得ることができたのは、私が早稲田から頂いた宝物です。

私の大学時代を語るには体育の授業でお世話になった伊藤順蔵教授をおいては語れません。面白そうな授業内容だったので軽い気持ちでバスケットを申し込んだら信じられない程の倍率でした。そして抽選。当時から運の良い私は当然当選。でも、ここで落選していたら私の大学生活はどうなっていたのか？と思えば返すとぞっとする事があります。

順蔵先生は、東京オリンピックで日本代表のコーチをなさって著書も多いバスケット界では有名な方でしたが、誰に対しても丁寧語で話され、研究室の冷蔵庫には常に缶ビールがびっしり入っていて、授業の終わった学生と一緒に喉を潤すのを至福の喜びとしてらっしゃいました。順蔵先生は、20歳で父を亡くした私にとって父のような存在でどこにでも連れて行って頂きました。早稲田牧舎や大隈庭園のレストランや、名前を忘れてしまったのですが記念会堂の近くに宮内庁に勤めていた方の和食処等月に二三度は食事をしていました。当時なかなかチケット

が取れなかった早慶戦では関係者席で学長の隣(ある時は森元首相の隣)で観戦。先生がご招待される蔵前の大相撲には栈敷席で観戦。結婚してからも娘達まで可愛がって下さいました。今では考えられない事だと思えます。

私が早稲田から頂いたもう一つの宝物は、もちろん横須賀三浦稲門会です。横浜の高校を出て大学が東京で就職も横浜と地元になじむ事の無かった私が、横須賀のパン屋に嫁いでも全く知り合いが無く寂しい思いをしていた時に、先日亡くなられた島田顧問のお嬢さんが稲門会に誘ってくれました。島田顧問のお嬢さんと大学時代には全く面識はなかったのですが、会社と一緒に数少ない女子新入社員として親しくお付き合いをしていました。

緊張しながら出席した稲門会で

その他報告

◇おめでた

選挙結果

神奈川県議会議員

竹内 英明

石川 巧

横須賀市議会議員

堀 遼一

小林 伸行

◇お悔やみ

窪田 隆 (昭和二十六年法卒)

は皆さんに優しく受け入れて頂いてとても感謝しています。鬼籍に入られた先輩達も、お酒の席で貴重なお話を下さったりカラオケで熱唱したりと今でもその光景は目に浮かびます。こうして原稿を書いて私にとって早稲田はかけがいのない存在だという事を改めて実感しました。ありがとうございました。



文芸関係で、俳句・短歌・川柳・詩・紀行文など。又、絵画として、水彩・油彩・パステル・水墨画など。紙面の許す範囲で掲載して行きたいと思えます。今回は第二回目で、パステル画、写真、四名の短歌と俳句を紙上発表させて頂きました。年二回発行する稲門会ニュース「学芸欄」に会員の皆様のご投稿をお待ちしております。連絡は左記に！

前原博幸

☎080-50300-2918

1026jiyujin@com.zaq.ne.jp

3色パステルアート

「3色パステルアート」というのは、名前の通り3色(赤青黄)のソフトパステルで絵を描くアートセラピーです。アートセラピー

といっても、絵を解析して心理状態を分析するというものではない

く、絵で自己表現したり、無心に描くことでリラックス効果を得られたり、絵を通じたコミュニケーションを通して心地よい居場所を作ることなどを目的としています。

コンセプトは「アートは一部の人のものではなく、誰もがいつでもどこでも気軽に楽しめるもの」です。

3色パステルアートの絵は、お料理と同じようにレシビ化されているので、初心者でも、絵に苦手意識を持っていても、楽しみながら素敵なパステル画を描くことができます。

レシビ化されていると皆同じような絵になると思われるかもしれませんが、決してそんなことはありません。同じ画材を使い、同じ手順で書いても、それぞれの個性が光る違う作品が出来上がります。

まったく絵心の無い私が、3色パステルアートに出会って、アートを身近に感じられるようになりました。また、インストラクターとして、ワークショップや自主開催のサロン等で3色パステルアートを広める活動をしたり、今年の秋には友人たちとのグループ展も企画して、楽しみながら創作活動にいらしていただいております。

3色パステルアート

インストラクター 内田千代子

(昭和55文)

パステル画コーナー



ラベンダー

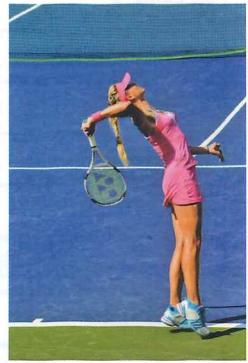


水風船



入道雲

写真コーナー



テニスのサーブ



田浦梅林の梅花



目黒川の桜

撮影／写友会 池野龍暢 (昭和38法)

短歌・俳句コーナー

短歌

●木下眞生 (紀ノ雅生)

白梅と 枝垂れ紅梅 競い咲き
甘きかほりに 春立ち上る (近所を散策中)

晩年は 潮騒の音と 陽が当たる

鄙びた漁村(むら)で 静かに暮らそう

(伊東の海沿いの道を行きながら)

また一人 親しき友が 旅逝きて

我が旅立ちも 友にいつかは(自らの旅立ちもそう遠くないとの思い)

思いっきり 絶唱したい 一度でも

ステージ上で カルチエラタンの雪(いづれやりたい夢)

死の前に 握ればよかった 母の手を

まだ温かかった あの母の手を(いまだに悔やむ思い)

●雑賀 邦行

雪抱く 春まだ浅き 安達太良に 遠き昔の恋人偲ぶ

東北は 今が名残の 八重桜 小さき日本の 広さを知る

矢部川の 清き流れは 戻るとも 幼き頃の景色戻らず

西の空 夕日に染まる そのなかに 黒き富士の シルエット素晴らし

強風に 因幡のウサギ 飛び跳ねる 相模灘越し 天城を望む

●前原 博幸

十一月、瀬戸内方面を旅して

瀬戸の海 キラキラ光る 波の上 宝石のよう 並ぶ島々

点と線 瀬戸の大橋 結ぶやく(役) 四国へ続く ひと筋の道

オリーブの 緑葉さやか 分校の 二十四の 瞳輝く

元祿へ タイムスリップ 赤穂の地 浪士のみ霊 安かれと祈る

俳句

●諏訪 英治

春の俳句五句

梅林の

野蒜少々

抜いてくる

サクサクと

切れ味戻り

春キャベツ

トレランの

高校生に

山笑う

大空に

口開ける子や

花吹雪

夜桜に

屈託のない

顔で行く

令和4年度 横須賀三浦稲門会決算報告(案)

令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

収入の部

(単位：円)

項目	4年度収入	備考
年会費収入	306,000	会費102名分
会報広告代収入	45,000	6件
総会収入	336,000	48名参加
祝儀寄付収入	20,540	寄付3件他
新年会収入	258,000	43名参加
補助金収入	82,000	校友会より
その他収入	73,008	預金利息
収入合計	1,120,548	

支出の部

項目	4年度支出	備考
会報費	277,564	会報2季分・印刷代、発送費、など
総会費	396,300	セントラルホテルにて
新年会費	275,000	煌蘭にて
交際費	16,500	葬儀生花代
会議費	18,250	会場使用料など
助成費	0	
講師謝礼	10,022	
通信費	12,362	郵送費他
支払手数料	14,560	年会費被振込手数料など
その他経費	106,828	稲門祭記念品他
支出合計	1,127,386	
令和4年度収支	-6,838	収入と支出の収支差
前期繰越金	2,266,068	
次期繰越金	2,259,230	繰越金 対前期比 6.838円減

会計監査の結果、適正に処理されていると認めます。

令和5年4月10日

繰越金内訳明細	残高
現金	325,542
ゆうちょ銀行	404,585
湘南信金	1,529,103
合計	2,259,230

会計監査

安川有里 印